

令和3年度 東生野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	93	55	42	7.5	18.3
	大阪市	—	61	55	5.1	12.3
5月27日	全国	—	64.6	57.2	4.4	11.2

令和3年度 東生野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

全国を100とした時の標準化得点について、国語95、数学96、であり、全てにおいて、全国平均を下回った。また、平均無回答率については、全てにおいて、全国平均を上回り、悪い結果である。

※分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」の全てにおいて課題がある。

◇正答数の分布について

全14問の問題数がある中で、本校では9問～11問の正答者の割合が、全国・大阪府と比べて極端に低い。またその分、6問～8問の正答者数が高い傾向となっており、生徒の中間層の正答率が低いことがわかる。全体的には、一人当たり、プラス2問の正答数が増えると正答率が平均化していく状態となっている。

◇無回答率について

本校の試験結果の中で、無回答率が他と比べて高い傾向にある問題がいくつかある。

・文章の構成について考える問題

・自分のものの見方や考え方を表現する問題

・伝える文章を考えて書く問題

の3つについてである。また主に、自分の知識を元に答える問題での無回答率は低い傾向がうかがえる。

【数学】「数と式」「関数」「図形」「資料の活用」の全てにおいて課題がある。

「式と計算」の分野では、基礎的な計算能力の低さが目立つ。特に、分数の計算の再確認、正の数・負の数の、数的な意味を理解させることが必要である。計算や数の持つ意味を理解するとともに、単純な計算であれば機械的に計算できる力を身に着けていくために、多くの問題に取り組むことが必要である。

「図形の分野」では、図形の性質の理解が十分ではないため、性質を用いた問題には取り組むことができていない。それらを応用した問題にも取り組むことができるよう、図形の性質の学習を繰り返し行い、理解を深めることが必要である。

「関数の分野」では、それぞれの関数がもつ特徴や値の変化の仕方を再確認させ、グラフの変化と関連付けて理解度を深める必要がある。また、「関数」は他の3つの分野にも関係することの多い分野なので、他分野での学習時にも関連付けて学習をすることで、知識の定着を図る。

「資料の活用」の分野では、資料から事象の傾向を読み取り、おこりうる結果を予想する、いろいろな場合に分けて資料を分析する、等の力が十分ではない。身近に起る事象などを取り上げることで、その場面をイメージしやすくし、自分ならどうするかを考えさせていくことで、資料の見方や活用の仕方を身につけさせていくことが必要である。

※生徒質問紙調査より

「家で、自分で計画を立てて勉強している」(質問紙17)生徒の割合が全国と比べて低い。

一方、「自分には、よいところがありますか」(質問紙6)、「将来の夢や目標を持っていますか」(質問紙7)の割合は、【今後に向けて】学校元気アップ事業と連携して、テスト前学習会を継続して実施し、学習時間の確保に努める。また、家庭学習習慣を身につけることができるよう、啓発していく。

【国語科】

本校では、生徒質問用紙の結果からは、「正義感が強く、自己肯定感の高い生徒」の肯定的な意見が多くみられる一方で、家庭学習については「全くしない」と答える生徒も多く、「新聞を読まない」生徒も全国より多い傾向がうかがえる。

こうした状況から考え、授業内容としては、「文章を読んで内容を正確に理解する」といった基礎的な学力から、「落ち着いて一つの問題について熟考する力」といった思考力を養うことまで幅広く力を注ぐ必要があると考えられる。また並行して、日々の家庭学習や「読書」の時間などを確保し、単調な作業的な学習に終始することなく、集中力を高めて考えられる時間を作り、思考力を高める学習取り組みを持続的に行うことが必要だと考えられる。

【数学科】

基礎的な計算能力や各分野の基本的な知識を定着させるために、復習や予習など、授業以外で行う家庭での学習を習慣づけさせていくことが必要である。また、問題の難易度が高すぎると、問題に取り組むことをやめてしまうことが多い。問題の難易度を細かく分けて、段階的に解かせることで自信をつけさせることも有効であると考える。全分野において発展的な問題は、問題文から、何について考えなければいけないのか、何を求めるといけないのか、どんな状況での出来事なのか、等を読み取ることが必要である。本校では問題文を読み解く力が十分ではないため、該当する問題に取り組むことができない生徒が多い。国語と連携し、文章の読解力や言葉の意味を理解するための力を、身につけさせていくことも必要である。

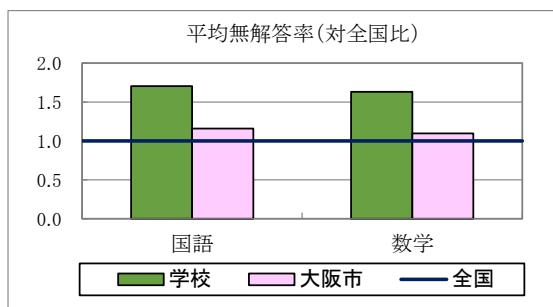
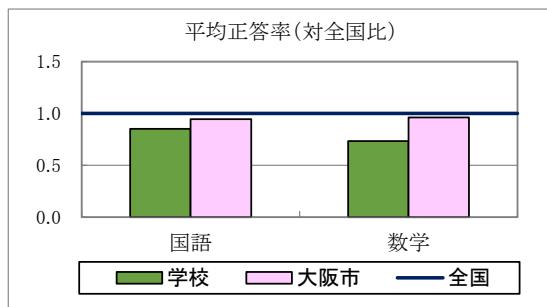
**令和3年度 東生野中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	55	42
大阪市	61	55
全国	64.6	57.2

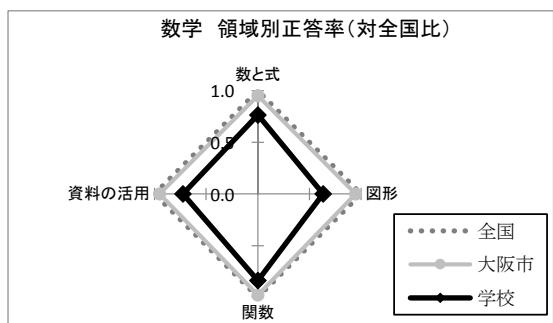
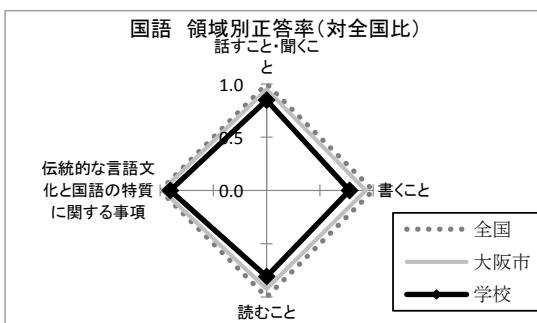
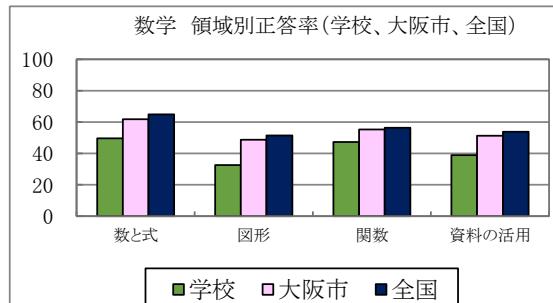
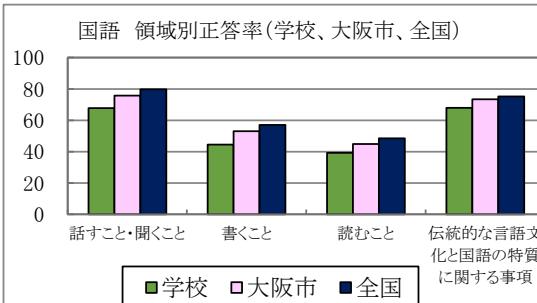
平均無解答率(%)	
国語	数学
7.5	18.3
5.1	12.3
4.4	11.2



【 国 語 】

学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
話すこと・聞くこと	3	67.7	75.8	79.8
書くこと	3	44.4	53.1	57.1
読むこと	4	39.2	44.8	48.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	68.0	73.4	75.1

学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
数と式	5	49.7	61.8	64.9
図形	4	32.5	48.7	51.4
関数	3	47.3	55.2	56.4
資料の活用	4	39.0	51.2	53.8



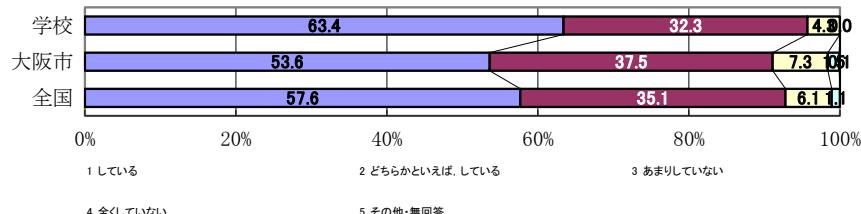
令和3年度 東生野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問紙より

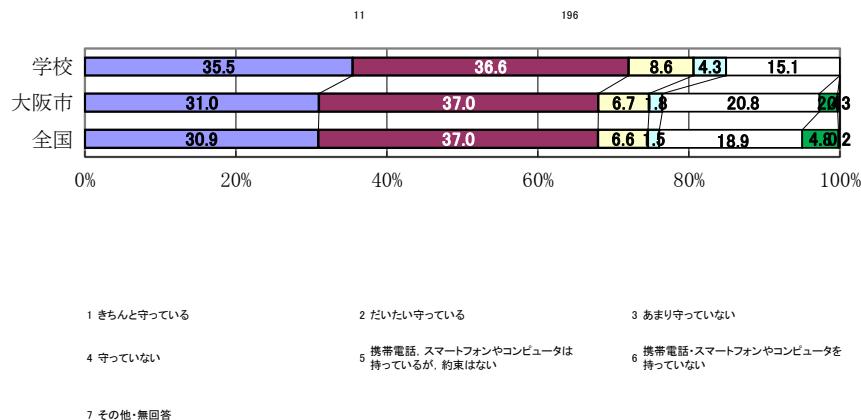
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

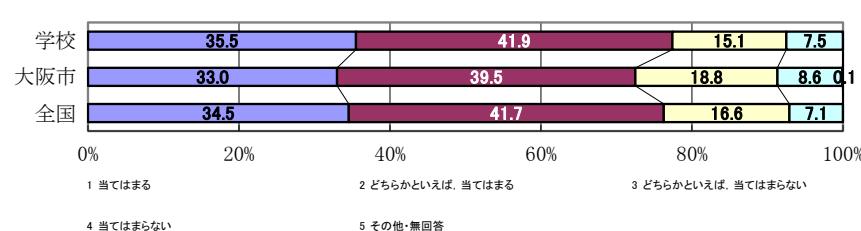
3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



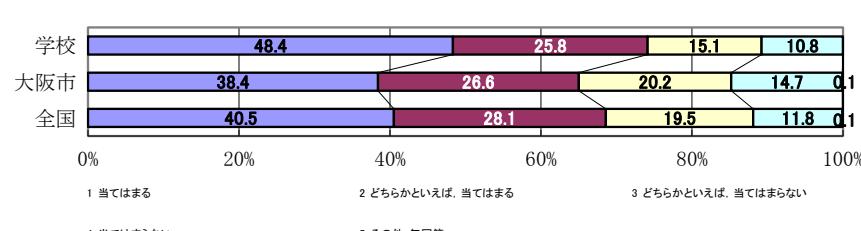
4 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家人の人と約束したことを守っていますか



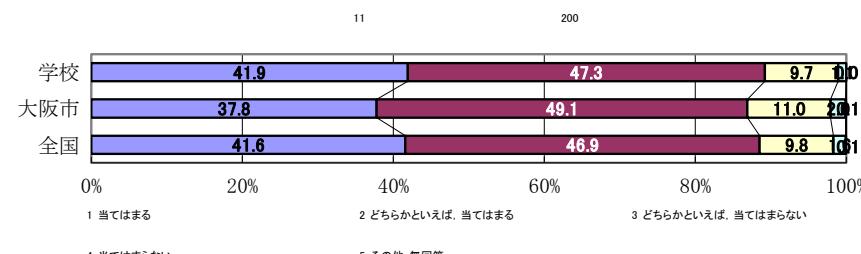
6 自分には、よいところがあると思いますか



7 将来の夢や目標を持っていますか



10 人が困っているときは、進んで助けていますか



令和3年度 東生野中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

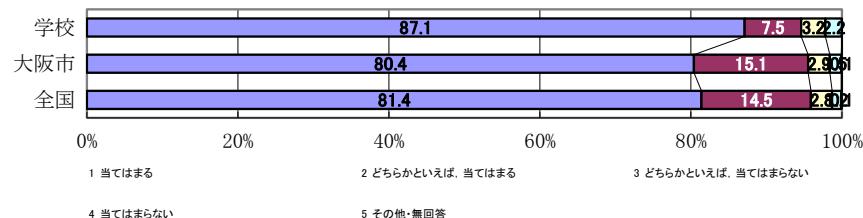
生徒質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号 質問事項

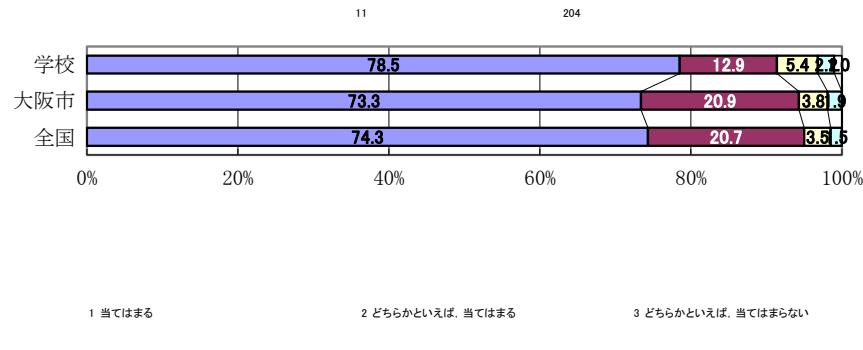
11

いじめは、どんな理由があってもいいことだと思いませんか



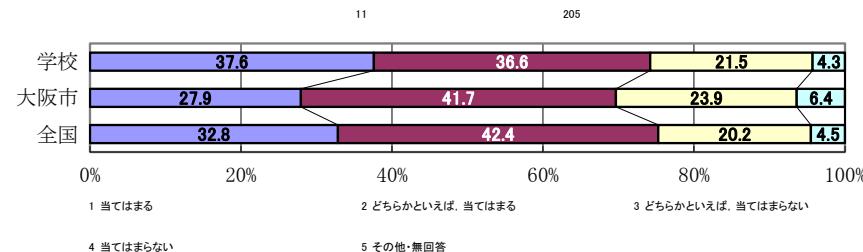
12

人の役に立つ人間になりましたいと思いますか



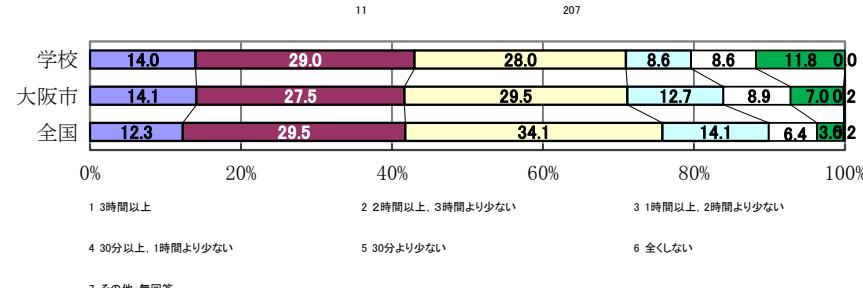
14

自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか



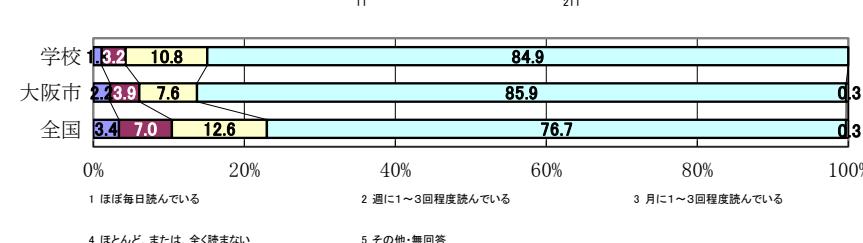
18

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます。)



23

新聞を読んでいますか



**令和3年度 東生野中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

学校質問紙より

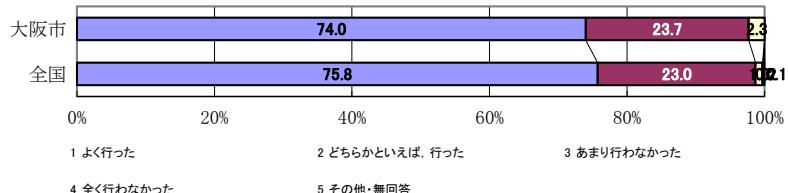
■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8

質問番号
質問事項

10

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律(他の人が話をしている時はしっかりと聞く、授業開始のチャイムを守るなど)を維持しましたか

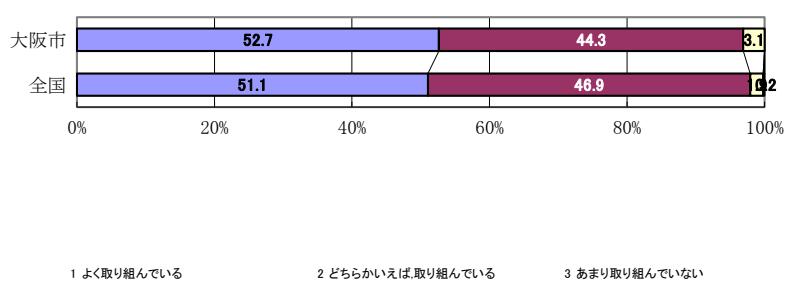
学校 「よく行った」を選択



17

学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか

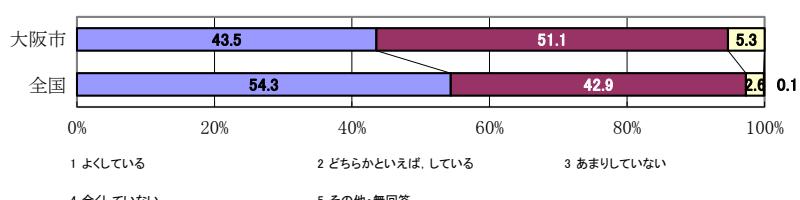
学校 「よく取り組んでいる」を選択



22

校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか

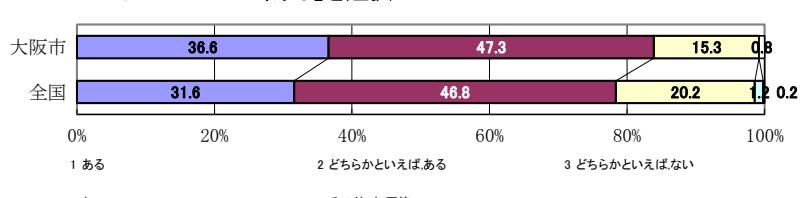
学校 「どちらかといえば、している」を選択



68

教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか

学校 「どちらかといえば、ある」を選択



70

あなたの学校では、次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか。①教職員間の連絡

学校 「よく活用している」を選択

